

平成30年度 事業報告

ハローファクトリー

一般企業に雇用されることが困難であって、雇用契約に基づく就労が困難である者に対して行う就労の機会の提供及び生産活動の機会の提供を行った。

またその他の就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練その他の必要な支援を行った。

【第二種社会福祉事業】・・・《 障害福祉サービス事業 》

- ア) 事業所の名称 ハローファクトリー
イ) 所在地 岡山市南区藤田1829-5
ウ) 経営主体 社会福祉法人 美土里会
エ) 実施事業及び定員
 ・就労継続支援B型事業・・・・・・35名

I. 利用状況

※ 8ページ参照

II. 実施事業

就労継続支援B型

i) 生産活動

【軽作業】

新規取引企業を開拓し下記の作業を実施した。

- ・バリ取り作業
- ・ハンガーリサイクル作業
- ・糸摘み作業
- ・封入作業
- ・リユース商品の清掃【新規】
- ・ペットボトルのリサイクル作業

【施設外就労】

- ・箱折作業、封入作業

【食品作業】

- ・パン、焼菓子の製造販売

■岡山県セルフ協による「県庁パン注文販売事業」

■ 〃 「県庁おかしBOX事業」(部署のお菓子BOXを設置)…新規

- 事業所間（他のB型事業所）で相互に協力販売（購入）を実施。
- 中元・歳暮等のギフト商品の開発、提案販売
- 岡山県セルフ協パン部会の共同開発「給食用セルフパン」等を製造販売
- ㈱MのKOクッキーの委託製造…新規
- 岡山市障害福祉課主催の「障害者就労施設商品 商談会」に参加
 - ※バイヤー商談会実施により販路開拓
 - ・農マル園芸（岡山店、赤磐店）…新規
 - ・ヒロシグマエ雑貨店（宮脇書店）…新規

ii) 工賃向上

岡山県の「工賃向上計画」に沿ったかたちで当事業所においても工賃向上計画を策定し、実施・適宜見直しを行った。

Ⅲ. 支 援

1：生産活動（工賃）

就労継続B型支援では工賃向上と同時に利用者ニーズを受け止め、生産活動に反映させた。

＜工賃実績＞

就労継続B型事業の工賃目標及び実績は岡山県に報告しており、岡山県のホームページにおいて閲覧することができる。

	1人あたり平均工賃
30年度	12,361円

2：生活支援

事業に定められた支援計画のモニタリング・見直しとは別に年度末に全利用者・ご家族と個別面談を実施し、アセスメントを通じて個々のニーズの達成状況を時間軸に合わせながら支援計画を作成した。

- i) 基本的な生活能力については、エンパワメントを重視しながら達成に向け支援を実施した。長期目標とは別に具体的目標を時間軸の中で到達できるよう心掛けた。
- ii) 情緒の安定が必要な利用者には、作業面、社会活動面でも小集団化を図ることにより特に問題なく活動できた。今後とも、ケース会議等を通じて全職員に課題と支援方針の共有化を図り利用者の安心感はもちろんのこと、特定の支援者に負担がかかり過ぎないように軽減を図らなければならない。

3：行 事

基本的に活動に係る費用を利用者負担としていることから、実施に当たっては事

業計画内容であろうと事前の説明と同意が必要である。そのことから全員が参加できるような招待企画や低予算の行事を主として実施した。

行事名	対象
障害者スポーツ大会	申込者のみ
サーカス観覧	全 員
健康診断（年2回）	全 員
ボーリング大会	全 員
家族会合同フードフェス（かりんと合同）	全 員、家族会
忘年会（デイハウスかりんと合同）	全 員
初詣（藤田神社）	全 員
外食（給食のない土曜日に実施）	希望者

4：健康管理

- ・年2回 医療機関による健康診断
実施医療機関：A 病院
- ・新型インフルエンザ流行の経験から手指消毒・うがい及びマスクの着用を習慣化するよう努めた
- ・職員に対してはインフルエンザの予防ワクチンを原則全員に接種し、利用者には家族ぐるみのインフルエンザ予防接種をお願いした。
- ・インフルエンザ・ノロ等の感染症予防の観点から、次亜塩素水を空中噴霧する装置を冬季半年間（11月から3月まで）事務所で設置・使用した。
- ・手指消毒用の薬品を玄関等に常時設置した。
- ・毎月の体重測定（BMI 計算） ・エネルギー対応食の実施。
- ・毎日の健康観察、適宜検温、家庭との連携のもと健康観察に努めた。
- ・服薬に関しては毎年アセスメント時において、情報を得つつ通院時の最新服薬情報の収集に努めた。個々には支援者による服薬の現認や、薬剤の殻確認等により徹底を図った。
また、利用者全員の服薬内容をより詳細把握するため調査を行い、変更時の情報把握も徹底した。
- ・希望されるご家族には利用者の同意のもと、かかりつけ医師への情報として状況記録の作成・提供を行った。
- ・アレルギー食材について新規利用者や実習生等に調査を行い、アレルギーの種類・程度を確認しベネミール㈱と共有のもと間違いが起こらないよう個人カード、一覧表作成等見直しを行った。
- ・利用者、職員とも敷地内禁煙、就業時間内禁煙を実施。あわせて禁煙希望者に

は禁煙外来の補助を条件付きで実施した。

5：食事サービス

一食648円で希望者に提供。但し、給食体制加算の対象者は1食300円（食材料費分）で提供した。給食提供加算が300円なので差額の48円は事業所が負担した。

利用者から給食委員を選任し利用者の要望・リクエストメニューを毎月の給食会議で献立等に反映させた。

その他、毎月の季節感を取り入れた食材やメニューを給食会議で協議し献立に組み入れた。また希望者にはエネルギー制限食を提供した。

＜給食会議メンバー＞

- ・ベネミール管理栄養士
- ・ベネミール調理員（2人）
- ・利用者（2人）
- ・ハローファクトリー職員

6：送迎サービス

1日の利用時間の中で長時間を送迎車で過ごすことの無いよう、送迎ルートを見直した。

ルートは、郡・岡南方面、妹尾・興除方面、中区役所方面の3ルート実施している。職員の時間外勤務の短縮のため、中区役所方面は運転手を雇用している。

7：防 災

火災による避難訓練と年1回の総合防災訓練及び南海トラフ地震による津波避難訓練1回を実施。また消防法で定められている年2回の消防設備の点検（内、1回を消防署に報告）を実施した。

- ・火災避難訓練
- ・地震・津波避難訓練
- ・消防設備点検 年2回（アルソック）

■施設を区割りし、区画別に管理担当者の名前を記載した札を掲げ、担当意識を持たせるようにした。

■防火管理者を設置

■その他

岡山市の「災害時要援護者避難支援台帳の登録申請」を実施。

【対象者】（1）ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯の人 （2）障害のある人
（3）介護が必要な人 （4）特定疾患医療受給者証を持っている人など

8：支援体制（職員配置）

職員配置体制は指定基準を上回るよう配置した。

職員配置状況【人員数は常勤換算の員数】

就労継続支援 B 型	実配置人員（目標 達成指導員含む）	配置基準
ハローファクトリー （重度者支援体制）	6.7 人	3.9 人

9：会 議

支援課題の検討・協議をはじめ必要な各種会議を実施した。

①個別支援計画会議

利用者一人一人に適切な支援をするため、支援計画の策定、見直しに係る会議を定期的に実施した。

②作業別会議

毎月 1 回以上の実施。各作業別に生産活動の収支状況、利用者工賃の協議を行っているほか、作業課題の協議として実施した。

③ケース会議

各会議で協議にあがる利用者支援上の課題に対して行った。日々の申し送り時や事業班会議では質・量とも不足する案件は、別途ケース会議を設け課題や対応の共有化をはかった。

④職員会議（全体）

月 1、2 回実施：支援状況の確認、作業別会議の報告、行事の立案、職場内研修、利用者工賃の協議等総括的協議の場として実施した。

⑤工賃向上会議

工賃向上計画にそって現状把握、進捗状況、課題の整理等を適宜実施した。

⑥申し送り

一日の全ての報告とともに、事故報告、ヒヤリ・ハット等の緊急的課題協議の場として毎日実施した。

⑦その他 ・給食会議（毎月月初）

- ・担当者会議（適宜）利用者を中心とした他機関と合同会議
- ・委員会会議（適宜）
- ・事業間を横断した工賃向上や食品会議（毎月）
- ・相談支援従事者とサービス管理責任者との意見交換会（隔月）

10：研 修

【外部研修】

日々の業務を通して学ぶことは基本であり重要であるが、現場を離れることにより自己を振り返り、反省とともに新しい知識や動機付けに施設外研修はなくてはならず、支援者として質的向上のきっかけが得られるよう以下の研修に参加した。

研修名
リスクマネジメント研修（新任コース）（中堅コース）
工賃向上研修会（2回）
製パン講習会
岡山県児童発達支援管理責任者研修（児童）
岡山県サービス管理責任者研修（就労）
精神保健福祉連絡会 地域別研修会（発達障害の理解を深めよう）
農福連携推進セミナー
農福連携による施設外就労推進セミナー
作業アセスメントシートを活用した収益向上セミナー
災害福祉支援セミナー
食品表示セミナー

【内部研修】

研修名
岡山南警察署【防犯】不審者対応訓練 （ワークハウスアイビー及びデイハウスかりんと合同）

【法人】

研修名
岡山県経営協 社会福祉法人役員セミナー
中四国経営協 災害支援セミナー
働き方改革シンポジウム
障害者グループホーム新規立ち上げ勉強会

12：地域交流

藤田町内会主催の「藤田ふれあい祭り」等の地域主催行事に参加し地域団体及び住民との交流を図った。

大災害に弱い土地柄であるので、地域の防災訓練に参加し、災害時や普段からも協力し合える関係づくりを図った。

- ・ふじた傳三郎祭り（商工会）
- ・藤田ふれあい祭り（町内会）
- ・藤田クリーン作戦（岡山市）
- ・藤田防災訓練
- ・地元中学校の職場体験を受け入れ
- ・支援学校の実習受入れ
- ・福祉系大学・専門学校等の資格に係る実習受入れ

13：苦情受付

苦情受付に男女2名の専門員を配置し、苦情、意見、要望の申出をしやすくした。

＜申出件数……5件＞

- 6月 要望（支援内容について）
- 6月 要望（安否確認用のライン「さくら連絡網」について）
- 6月 苦情（受傷の疑い）
- 8月 苦情（支援内容について）
- 9月 苦情（支援内容について）

14：虐待防止

平成24年10月より「障害者虐待防止法」が施行されている。

虐待の禁止だけでなく、事業者として防止策を講ずる責務を負っていると共に発見した場合は岡山市等に通報義務を課せられている。

＜通報件数……0件＞

＜発見件数……0件＞

15：その他（危機管理）

事故は充分に気をつけていても起こりうるものである。しかし過去の事故やヒヤリ・ハットの事例から未然に防止できる事案もあることを踏まえ事故等が起きるたびに原因を精査し、改善案を職員全員で共有した。

■ヒヤリ・ハット…1件

30年 5月 利用者の怪我の恐れ

■事 故 …… 5件

30年 4月 利用者の備品破損

4月 利用者の作業中の怪我

10月 他利用者からの他害行為

31年 3月 利用者の怪我（階段転倒）

3月 利用者の発作（てんかん～家族要請により救急車対応）

16：資 料

利用者状況（所轄の福祉事務所別）

（平成31年3月31日現在）

福祉事務所	利用者数
岡山市健康づくり課	1
岡山市北区中央福祉事務所	4
岡山市中区福祉事務所	3
岡山市南区西福祉事務所	16
岡山市南区南福祉事務所	12
玉野市福祉事務所	1
合 計	37

30年度 入・退所状況

	人 数	理 由
入 所	0名	なし
退 所	1名	就労から生活介護を利用

利用者状況（年齢別）

（平成31年3月31日現在）

年齢／性別	男性	女性	合計
20歳未満	0	0	0
20歳～24歳	4	4	8
25歳～29歳	4	6	10
30歳～34歳	2	3	5
35歳～39歳	1	1	2
40歳～49歳	6	3	9
50歳以上	2	1	3
合 計	19	18	37

※ 平均年齢【33.1 歳】